平成26年海津市議会第2回定例会

◎議事日程(第3号)

平成26年6月20日(金曜日)午前9時開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算(第1号)
- 日程第3 議案第51号 海津市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例について
- 日程第4 議案第52号 海津市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第5 議案第53号 海津市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第6 議案第54号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第7 議案第55号 海津市火災予防条例の一部を改正する条例について
- 日程第8 海津市農業委員会委員の推薦について
- 追加日程第1 議案第57号 工事請負契約の締結について
- 追加日程第2 発議第2号 南海トラフ地震に備えるための木曾三川下流域のゼロメートル地帯への地震防災対策の強化・推進を求める意見書について

◎出席議員(15名)

1番	飯田洋君	2番	藤田敏彦君
3番	赤尾俊春君	4番	浅井まゆみ君
5番	橋本武夫君	6番	松田芳明君
7番	六鹿正規君	8番	堀田みつ子君
9番	森昇君	10番	松岡光義君
11番	服部寿君	12番	水谷武博君
13番	伊藤誠君	14番	永田武秀君
15番	川瀬厚美君		

◎欠席議員（なし）

◎地方自治法第121条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

市 長	松 永 清 彦 君	副 市 長	後 藤 昌 司 君
教 育 長	横 井 信 雄 君	総務部長併 選挙管理委員会 事務局書記長	福 田 政 春 君
総務部次長 (施設担当)	岡 田 健 治 君	総務部次長兼 総務課長併 選挙管理委員会 事務局書記次長	渡 邊 良 光 君
総 務 部 企画財政課長	白 木 法 久 君	市民環境部長	鈴 木 照 実 君
健康福祉部長	木 村 元 康 君	健康福祉部次長 (施設担当)兼 サンリバーはつらつ 事務 長	伊 藤 裕 康 君
産業経済部長	中 島 智 君	建設水道部長	丹 羽 功 君
危機管理局兼 危機管理監 監察室長	三 木 孝 典 君	教育委員会 事務局 長	服 部 尚 美 君
教育委員会 事務局次長 (施設担当)	菱 田 昭 君	会計管理者	馬 場 司 郎 君
監査委員事務局併 公平委員会 事務局書記長	徳 永 廣 徳 君	農業委員会 事務局 長	石 原 八十司 君
消 防 長	吉 田 一 幸 君		

◎本会議に職務のため出席した者

議会事務局長	青 木 彰	議会事務局 議会総務課長兼 議事調査係長	古 川 和 典
議会事務局 議会総務係 課長	水 谷 理 恵		

◎開議宣告

○議長（川瀬厚美君） 定刻でございます。

ただいまの出席議員は15名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

(午前9時00分)

◎会議録署名議員の指名

○議長（川瀬厚美君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、議長において7番 六鹿正規君、8番 堀田みつ子君を指名します。

◎議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）から議案第55号 海津市火災予防条例の一部を改正する条例についてまで

○議長（川瀬厚美君） 次に日程第2、議案第50号から日程第7、議案第55号までの6議案を一括議題とします。

さきに各常任委員会に審査が付託してありますので、ただいまより各委員長から審査結果の報告を求めます。

最初に、総務産業建設委員長 藤田敏彦君。

○総務産業建設委員長（藤田敏彦君） 委員会報告をさせていただきます。

海津市議会議長 川瀬厚美様、平成26年6月19日、総務産業建設委員会委員長 藤田敏彦。委員会審査報告書。

本委員会に付託された案件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告をさせていただきます。

議案番号、件名、結果の順で申し上げます。

議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）のうち本委員会の所管に属する事項、可決すべきもの。議案第51号 海津市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例について、可決すべきもの。議案第52号 海津市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。議案第53号 海津市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。議案第54号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。議案第55号 海津市火災予防条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。以上であります。

審査の経過を申し上げます。

議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）のうち本委員会の所管に属する事項については反対する意見があり、審査、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。

なお、その他5案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しましたことをあわせて御報告申し上げます。

また、主な質疑といたしまして、議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）のうち本委員会の所管に属する事項の中で、特定個人情報保護評価支援委託料の関係で社会保障・税番号制度、いわゆる個人ナンバー制度導入のメリット・デメリットについて質問があり、メリットとしては、所得証明の省略、住民票添付の省略、所得情報の効率的な把握等、デメリットとしては、個人情報の保護の仕方、個人番号の不正使用等の課題がある旨の説明がございました。

また、市民への説明はどのようにするのかの質問には、個人カード交付の事前広報、情報連携、啓発等の強化をすとの説明がございました。

以上であります。

○議長（川瀬厚美君） 続きまして、文教福祉委員長 服部寿君。

○文教福祉委員長（服部 寿君） 委員会審査報告書を朗読させていただきます。

海津市議会議長 川瀬厚美様、平成26年6月19日、文教福祉委員会委員長 服部寿です。

本委員会に付託されました案件は、審査の結果、次のとおり決定いたしましたので、会議規則第109条の規定により報告いたします。

議案番号、議案第50号、件名であります、平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）のうち本委員会の所管に属する事項、結果、可決すべきものであります。

審査の経過を申し上げます。

ただいま報告いたしました議案第50号は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしましたことをあわせて報告させていただきます。

また、主な質疑といたしまして、小学校費の施設修繕工事費増の関係で特別支援学級の設置は難しいと思うが、どのような経緯で下多度小学校特別支援学級の設置が認められたかの質問があり、特別支援学級の設置については、毎年、県へ要望し、今回は下多度小学校が認められましたので、今後も強く県へ要望していくとの説明がありました。

次に、南濃体育館耐震補強計画策定委託料の関係で、市内の小・中学校等で耐震補強が完了している施設はどのくらいの震度まで耐えられるかの質問があり、構造耐震指標（I s 値）により、大規模な地震があった場合でも危険性は低くなるよう補強しているとの説明がありました。

次に、地域支え合い体制づくり事業費補助金の関係で補助率についての質問があり、対象

事業があり、今回は県の補助率が10分の10で、上限が100万円との説明がありました。

また、拠点整備事業で備品等は対象にならないかとの質問に、拠点整備事業は備品の対象にはならないが、県の補助事業の中には備品等が対象に含まれる事業が10分の10で、限度額350万円の事業もあるとの説明がありました。

さらに、今年度のこの県事業が来年度も行われるのかの質問があり、県の事業ですので同じものがあるかは今の時点ではわかりませんとの説明がありました。

次に、敬老の日お祝い事業の関係で1,500円の商品券の内訳についての質問があり、500円券3枚で考えているとの説明がありました。

また、商品券の対象店の質問があり、海津市内の商工会加盟店との説明がありました。

さらに、商品券の印刷費はどこが負担しているかの質問があり、商工会が負担しているが、市のほうから商工会に運営補助金を出しているとの説明がありました。

以上でございます。

○議長（川瀬厚美君） 各委員長の報告が終わりました。

それでは、各委員長の報告に対する質疑を行います。

初めに、総務産業建設委員会付託案件の質疑を許可します。

質疑ございますか。

〔挙手する者なし〕

○議長（川瀬厚美君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

続きまして、文教福祉委員会付託案件の質疑を許可します。

質疑ございますか。

〔挙手する者なし〕

○議長（川瀬厚美君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

初めに、議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）について、討論を行います。

討論の通告がありますので、発言を許可します。

8番 堀田みつ子君。

○8番（堀田みつ子君） それでは、議長の許可を得ましたので、議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）に反対の立場で討論を行います。

今回の補正予算の中には、税と社会保障の個人情報を一括管理するためのシステム改修や例規整備などの委託料が1,000万円余計上されております。このマイナンバー制度を導入するメリットとして幾つかの例が挙げられました。所得証明の添付が必要な申請等に添付が省略できることや、住民票の添付の省略についても述べられました。その折に、役所が関係機

関に問い合わせをして情報を取得するので可能になると言われたように、その述べられたメリットは、ややもするとデメリットに変わる危険があることの証明でもあります。また、異なる制度間の給付調整、所得情報のより正確、効率的な把握で税務担当の業務改善等もありましたが、公の機関にとってのみ都合のよい制度となりかねません。

デメリットについては、なりすましによる犯罪、国家による一元管理、情報が外部に漏えいするのではないか、不正使用による被害などが上げられており、先ほども述べましたように、メリットがあるけれど、その裏返しのデメリットのほうが大きいと言えます。

その上、このマイナンバー制度は、選択の余地のないものです。リスクが大きい分、そのような施策をとるべきではないと考えます。

国の法が決まったからということで、ただ異議なしと賛成できるものではありません。徴税強化、納付抑制が狙われ、プライバシーの漏えいや、個人をいともたやすく監視できるこの制度の導入は、必要性がないものと考え、反対をいたします。ありがとうございました。

○議長（川瀬厚美君） 賛成者討論はありますか。

〔挙手する者なし〕

○議長（川瀬厚美君） 討論なしと認め、討論を終結します。

これより議案第50号について採決をいたします。

本案に対する委員長の報告は可決です。議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）については、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（川瀬厚美君） 総数14名、起立者13名、賛成多数です。よって、議案第50号 平成26年度海津市一般会計補正予算（第1号）については、委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第51号から議案第55号まで討論を行います。

討論ございますか。

〔挙手する者なし〕

○議長（川瀬厚美君） 討論はないものと認めます。

お諮りします。議案第51号から議案第55号までの5議案につきまして、一括採決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議案第51号から議案第55号までの5議案につきましては、一括採決をいたします。

お諮りします。議案第51号から議案第55号までの5議案について、委員長報告のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議案第51号 海津市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例について、議案第52号 海津市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について、議案第53号 海津市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について、議案第54号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、議案第55号 海津市火災予防条例の一部を改正する条例について、以上5議案は、委員長報告のとおり可決することに決定いたしました。

ここでしばらく休憩いたします。

（午前9時14分）

○議長（川瀬厚美君） 皆さんおそろいでございますので、休憩前に引き続き、会議を再開します。

（午前10時28分）

◎海津市農業委員会委員の推薦について

○議長（川瀬厚美君） 続きまして、日程第8、海津市農業委員会委員の推薦についてを議題とします。

お諮りします。議会推薦の農業委員は4人とし、議長において指名したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議長より指名します。

初めに、海津町駒ヶ江683番地、大倉一義氏を推薦したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議会推薦することに決定をいたしました。

続きまして、平田町幡長664番地、伊藤勝代氏を推薦したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議会推薦することに決定をいたしました。

続きまして、南濃町志津新田485番地9、寺倉百合子氏を推薦したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議会推薦とすることに決定をいたしました。

続きまして、森昇君を推薦したいと思います。

ここで、地方自治法第117条の規定により、9番 森昇君の退席を求めます。

〔9番 森昇君 退場〕

○議長（川瀬厚美君） お諮りします。森昇君を推薦することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議会推薦することに決定をいたしました。

森昇君、入場してください。

〔9番 森昇君 入場・着席〕

○議長（川瀬厚美君） 以上のとおり、農業委員会委員には、ただいまの4人の方を推薦することに決定をいたしました。

◎議案第57号 工事請負契約の締結について

○議長（川瀬厚美君） 続きまして、お諮りします。ただいま、海津市長から、議案第57号 工事請負契約の締結についてが提出されました。これを日程に追加し、追加日程第1として議題にしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議案第57号 工事請負契約の締結についてを日程に追加し、追加日程第1として議題といたします。

議案の配付をお願いします。

〔追加議事日程の配付〕

○議長（川瀬厚美君） 市長より提案理由の説明を求めます。

市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 本日、追加提案いたしました議案の概要について御説明申し上げます。

提案いたしました議案第57号の工事請負契約の締結につきましては、城南中学校南舎建設（建築主体）工事について、6月10日に事後審査型条件つき一般競争入札を実施した結果、6者の入札となり、最低価格でありました内藤・堀田特定建設工事共同企業体と契約額4億5,338万4,000円（税込み）で契約締結するものです。海津市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づきまして議会の議決を求められます。

以上、議案第57号について御説明いたしましたので、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明を終わります。

○議長（川瀬厚美君） 提案理由の説明が終わりましたので、質疑を許可します。
質疑ございますか。

〔挙手する者なし〕

○議長（川瀬厚美君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

お諮りします。本案件は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから、議案第57号を採決します。

お諮りします。議案第57号 工事請負契約の締結については、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、議案第57号 工事請負契約の締結については、原案のとおり可決することに決定をいたしました。

◎発議第2号 南海トラフ地震に備えるための木曾三川下流域のゼロメートル地帯への地震防災対策の強化・推進を求める意見書について

○議長（川瀬厚美君） 続きまして、お諮りします。ただいま、12番 水谷武博君ほか2名から、発議第2号 南海トラフ地震に備えるための木曾三川下流域のゼロメートル地帯への地震防災対策の強化・推進を求める意見書についてが提出されました。これを日程に追加し、追加日程第2として議題にしたいと思っております。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川瀬厚美君） 異議なしと認めます。よって、発議第2号 南海トラフ地震に備えるための木曾三川下流域のゼロメートル地帯への地震防災対策の強化・推進を求める意見書についてを日程に追加し、追加日程第2として議題といたします。

議案の配付をお願いします。

〔追加議事日程の配付〕

○議長（川瀬厚美君） 提出者より趣旨説明を求めます。

12番 水谷武博君。

○12番（水谷武博君） それでは、議長のお許しをいただきましたので、意見書を朗読させていただきますまして、提案理由の説明とさせていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

発議第2号、平成26年6月20日、海津市議会議長 川瀬厚美様。提出者、海津市議会議員 水谷武博、賛成者、海津市議会議員 赤尾俊春、賛成者、海津市議会議員 服部寿。

南海トラフ地震に備えるための木曾三川下流域のゼロメートル地帯への地震防災対策の強化・推進を求める意見書について。

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

理由、木曾三川下流域のゼロメートル地帯に位置する海津市の特殊事情を踏まえた総合的な防災・減災対策の取り組みへの支援を強化するよう強く要望するもの。

南海トラフ地震に備えるための木曾三川下流域のゼロメートル地帯への地震防災対策の強化・推進を求める意見書。

南海トラフ地震発生後の津波到達時間の短い地域における避難対策を推進するという考えのもと、「南海トラフ地震対策特別措置法」における南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域（以下、「特別強化地域」という。）の指定基準は、「津波による30センチ以上の浸水が地震発生から30分以内に生じる地域」を原則とするものである。

しかし、この基準により指定が進められた結果、強震動による液状化等に伴う河川・海岸堤防の沈降が生じると、地震発生直後から広範囲に及ぶ浸水が始まり、その後到達する津波により深刻な人的被害が生じることが予想される木曾三川下流域のゼロメートル地帯の市町村が指定から外されることになる。

広大なゼロメートル地帯に居住する住民を南海トラフ地震から守るためには、これら地域についても特別強化地域に指定し、津波避難対策の推進を図るとともに、地震発生直後の堤防沈降による浸水とその後の津波による被害を防ぐための河川堤防の耐震化や粘り強い構造への強化、液状化対策、排水機場の耐震化及び浸水・津波避難対策に資するための広域避難体制の構築、避難施設や避難場所、避難路等の整備など、地域の特殊事情を踏まえた総合的な防災・減災対策を講じる必要がある。

よって、国におかれては、以上の現状を踏まえ、下記事項について適切な措置を講じられるよう強く要望する。

記1. 特別強化地域の指定基準を改め、強震動による液状化等の被害が生じると浸水・津波から避難が極めて困難となる木曾三川下流域のゼロメートル地帯に位置する海津市を特別強化地域に加えること。

2. これら地域の特殊事情を踏まえた総合的な防災・減災対策の取り組みへの支援を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月20日、岐阜県海津市議会。

なお、提出先は、衆議院議長様、参議院議長様、内閣総理大臣様、内閣府特命担当大臣(防災)様、国土交通大臣様。

以上でございます。

なお、この意見書の基礎になっておりますのは、6月2日に東海3県の知事さんが政府に対しまして、この同趣旨の提言書を提出されました。そのことを参考にし、意見書を提出したものであります。皆様には、よろしく願いをいたします。

○議長(川瀬厚美君) 趣旨説明が終わりましたので、質疑を許可します。

質疑ございますか。

[挙手する者なし]

○議長(川瀬厚美君) 質疑なしと認め、質疑を終結します。

お諮りします。本案件は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長(川瀬厚美君) 異議なしと認めます。

これより討論を行います。

討論ございますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○議長(川瀬厚美君) 討論なしと認め、討論を終わります。

ただいまから、発議第2号を採決します。

お諮りします。発議第2号は、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長(川瀬厚美君) 異議なしと認めます。よって、発議第2号 南海トラフ地震に備えるための木曾三川下流域のゼロメートル地帯への地震防災対策の強化・推進を求める意見書については、原案のとおり可決することに決定をいたしました。

この意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣に送付いたします。

◎閉会の宣告

○議長(川瀬厚美君) 以上をもちまして、今定例会に提出されました案件は全て議了いたしました。これをもちまして、平成26年海津市議会第2回定例会を閉会いたします。御苦労さ

までございました。ありがとうございました。

(午前10時41分)

上記会議録を証するため下記署名する。

平成 26 年 9 月 1 日

議 長 川 瀬 厚 美

署 名 議 員 六 鹿 正 規

署 名 議 員 堀 田 みつ子